様式第１号（第８条、第９条関係）

事業者行動計画書~~（変更計画書）~~

令和３年７月２９日

（宛先）
滋賀県知事　殿

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
東京都港区芝１丁目７番１７号
住友不動産芝ビル３号館（２F）
氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
株式会社ホタルクス　社長　山村　修史
（代理人）取締役滋賀工場長　小山　貴司

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例〔第20条第３項・~~第20条第４項~~
~~第22条第１項・第22条第２項において準用する同条例第20条第４項~~〕の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	株式会社ホタルクス　社長　山村　修史
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	東京都港区芝１丁目７番１７号　住友不動産芝ビル３号館（２Ｆ）

１　事業所の概要

事業所の名称	株式会社ホタルクス　滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町日電３番１号					
主たる事業	細分類番号	2	9	4	1	電球製造業
該当する事業者の要件	■　原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	□　従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	□　任意提出事業者					

２　計画の内容

計画の内容	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番とします。

標準様式第１号

（第１面）

1　計画期間

計画期間	令和３年度　　～　　令和５年度

2　低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

（１）基本理念

「環境と調和のとれた製品および製法の開発導入と
環境意識の向上により地域に密着した環境管理の実現」

（２）行動指針

①製品、製法アセスメントの実施により環境に与える影響を考慮した生産活動と製品を提供する。

②環境目的、目標を定め、環境管理活動計画に沿って継続的な改善活動と環境保護を実践します。

・使用化学物質の種類と使用量の削減、より無害な物質への代替。

・源流に遡った廃棄物発生量の削減。

・最小のエネルギーで効率の良い生産の追及。

③法および協定等の公的基準の完全遵守のため、自主管理基準を設定してこれを確保する。

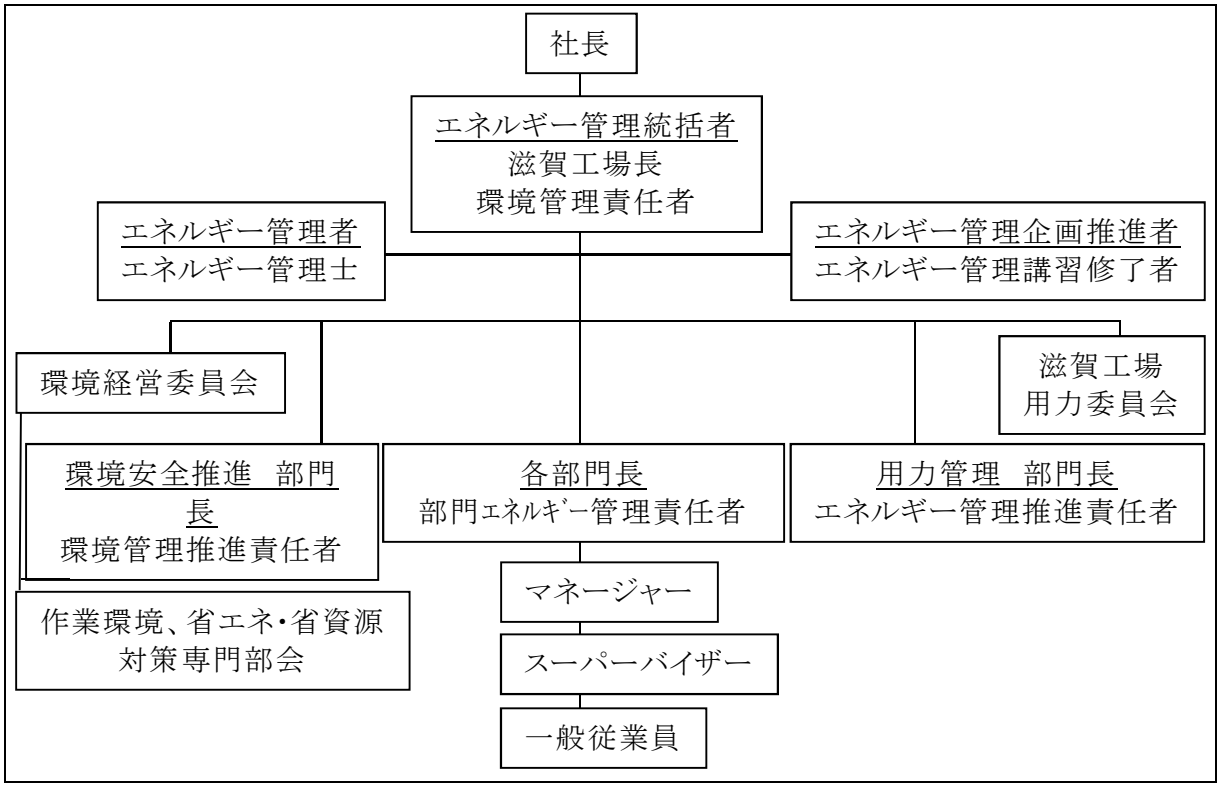
④本方針遂行のため年度毎に法の要求事項、保有する環境側面、利害関係者の見解等に基づき環境目的、目標を見直す。

⑤本方針を環境管理システムにより実行し、維持すると共に全員に周知する。

⑥環境管理組織、運営制度を確立して、責任の所在を明確にし常に最適の体制を維持する。

⑦内部環境監査により環境管理のＰＤＣＡを回す。

3　低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考　組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

4　これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

省エネルギー設備の導入や稼動設備の効率化を図るなど計画的に実施している。

・天井灯の間引き及び休憩時間天井灯消灯
・ＰＣに関わる省エネ（離席時の待機設定、ノートＰＣバッテリー利用、モニタ輝度調整）
・ＬＰＧ、重油使用設備の燃料転換（LNG 化）
・ターボ冷凍機からスクリューチラーへの更新
・エアーコンプレッサー停止による削減
・県工水濾過送水電力削減
・受変電設備の最適化による省エネ
・エアードライヤー（インバータ式）の更新による電力削減
・照度を従来通りで電力を削減できる照明器具を採用する
・評価棟の消費電力を省エネ施策実施により削減
（点灯台試験後の電源即時カット、ルーフファン清掃・定期点検、エアコン稼動時の適正化）
・空調温度（夏場：28℃、冬場：20℃）の徹底
・環形ランプ生産ラインの稼動計画見直しによる節電
・ライン休憩稼動を行い生産量増加使用用力の削減
・高圧エアードライヤーの凝縮器前段にスーパーコンデンサ（冷却装置）取付による運転電力削減
・デマンドシステムによるエアコン室外機電力自動抑制
・工場内の照明に関し順次省エネルギー照明器具（LED 照明等）へ更新

5　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	運用対策	休憩時間天井灯の消灯 【年間 14t-CO2 削減】	令和３年度～ 令和５年度
2	設備導入対策	エアコン室外機にスーパーコンデンサ(冷却装置)取り付けによる電力削減【年間 11t-CO2削減】	令和３年度～ 令和５年度
3	燃料転換対策	LPG、重油使用設備の燃料転換(LNG化) 【年間 423t-CO2 削減】	令和３年度～ 令和５年度
4	設備導入対策	ターボ冷凍機からスクリューチラーへの更新 【年間 13t-CO2 削減】	令和３年度～ 令和５年度
5	運用対策	長期連休中のエアーコンプレッサー停止による削減 【年間 118t-CO2 削減】	令和３年度～ 令和５年度
6	設備導入対策	県工水濾過送水ポンプの使用を最小限おさえる回路への変更による使用電力削減 【年間 23t-CO2 削減】	令和３年度～ 令和５年度
7	設備導入対策	デマンドシステム導入によるエアコン室外機電力自動抑制 【年間 25t-CO2 削減】	令和３年度～ 令和５年度
8	運用対策	ライン休憩稼動を行い生産量増加使用用力の削減 【年間 13t-CO2 削減】	令和３年度～ 令和５年度

(2) エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

上記（１）の取組等により、以下の数値目標の達成を目指します。

【事業者等としての目標】

エネルギー使用量（原油換算値）／生産金額原単位で前年度－１％削減

なお、原単位の考え方は次の通りです。

事業場で生産した製品に大きく影響する生産金額を原単位の指標として設定しました。

（第４面）

6　事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

○当社は照明の明るさや質を落とすこと無く、効果的な節電と快適性を両立させることを目指し、光源や照明器具の効率改善を進めながら、適材適照の省エネ照明の商品化を進めています。これら省エネ商品でお客様の省コストとＣＯ2 排出削減を実現し、低炭素社会づくりに貢献していきます。 ○工場内で使用される機器（空調機、照明器具等）を省エネタイプの機器へ切替を行い、温室効果ガスの低減を図り、低炭素社会づくりに貢献していきます。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標：当社で開発、製造しているエネルギー消費効率（省エネタイプ）の高い器具、ランプの省エネ商品が社会に供給されることにより、温室効果ガス排出削減に貢献する。 考え方：省エネ法のトップランナー方式で定める省エネ基準を目標値として維持し、よりエネルギー消費効率の高い器具、ランプの開発、製造を行う。

（第５面）

7　その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール

1		別紙のとおり	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

2021年度ホタルクス環境管理活動中期計画

区分	目的	中期目標	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
地球 温暖化 防止	エネルギー使用量（原油換算：総量又は原単位）の削減（前年度比－1％） 電気需要平準化時間帯の電気購買量×1.3で算定 ⇒生産高の1本立てにて計画	前年度－1％	前年度－1％	前年度－1％	前年度－1％	前年度－1％
資源 有効 利用	廃棄物発生量の削減 ガラス屑（産業廃棄物）	－0.5％ 生産高原単位(前年度比）	前年度－1.0％	前年度－0.5％	前年度－0.5％	前年度－0.5％
人材 育成	環境教育受講の徹底（国内）	95％以上を 維持・継続	受講率95％以上	受講率95％以上	受講率95％以上	受講率95％以上
	生物多様性貢献MDD 運動への参加人数（従業員家族含む）	各部門からの参加者(1名以上）	MDD活動の 企画実施	MDD活動の 企画実施	MDD活動の 企画実施	MDD活動の 企画実施
地域貢献の 促進	工場周辺美化活動	年2回（前、後期）実施	年2回	年2回	年2回	年2回